

第三七支部	壹五〇
第三十一支部	七〇
第三十三支部	四〇
第三十三支部	五〇
衆支部(仮)壹五	四〇
東濃支部(仮)壹五	四七五
本部直屬	四〇
(2) 新加入者寄附金	貳〇〇
(3) 函三嶺米部附設 芽生田寄附金	五參 四貳
(4) 積立金より支出	參〇 九七
合計	貳四九參四

會報其他印刷物	貳〇
林氏退職慰勞金	五〇
(3) 支部費	四〇
(4) 共済費	貳九
長瀬清君香奠	壹〇
岡野富三君見舞	五〇
太田鈴太郎君見舞	五〇
小笠原武君見舞	參〇
明石健一君見舞	參〇
岩田敏君香奠	參〇
合計	貳四九參四

會計報告後

十月は非常な多額の金が必要となり、居たに臨時費が意外に多かったと痛く、レコード破りなどに振りまいた。然し好く見れば、これは完く十一月に限る特殊の現象で去る事が、直に去る事、林氏慰勞金の五十円、会報其他印刷物の二十円等、衆支部専議も張在座費の十四円等は全く臨時中の臨時費で、經常費の方から出さなければ、總會の存続は餘程要すべし。

之等諸別々支出を別々として考へれば、平常の月は百三十四位位の經費で十分任務をこなすに足らうと思ひます。一月から新事務所へ移轉して、大一一費は十分と思ひ、新事務所は家賃が、僅か拾円餘拾銭分まで、電燈、瓦斯、所費水道、茶、雑費を幾分か増加すると思ひ、一切で拾円位位増せば好からうと思ひます。

貳百円以内で済ませたいと願ひ、共済費も多すぎたとして、総額二百五十四